

東北・関東大地震 仙台で10m津波

死
300人超



M8.8 国内最大

三陸沖震源 宮城震度7

首都圏の機能マヒ

原子炉停止で緊急事態宣言

茨城の高校水没

石原都知事4選出馬

引退意向を「身命を賭す」

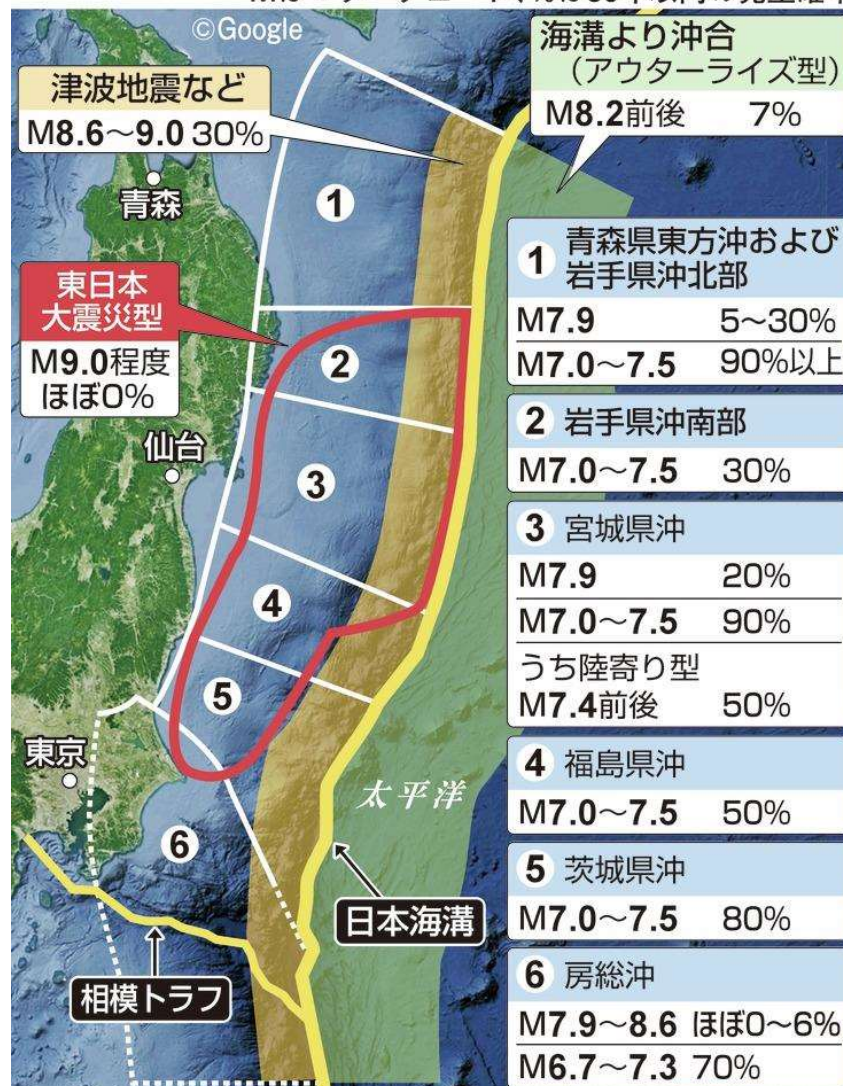


震災時に病院の救急医療は確保できていますか？

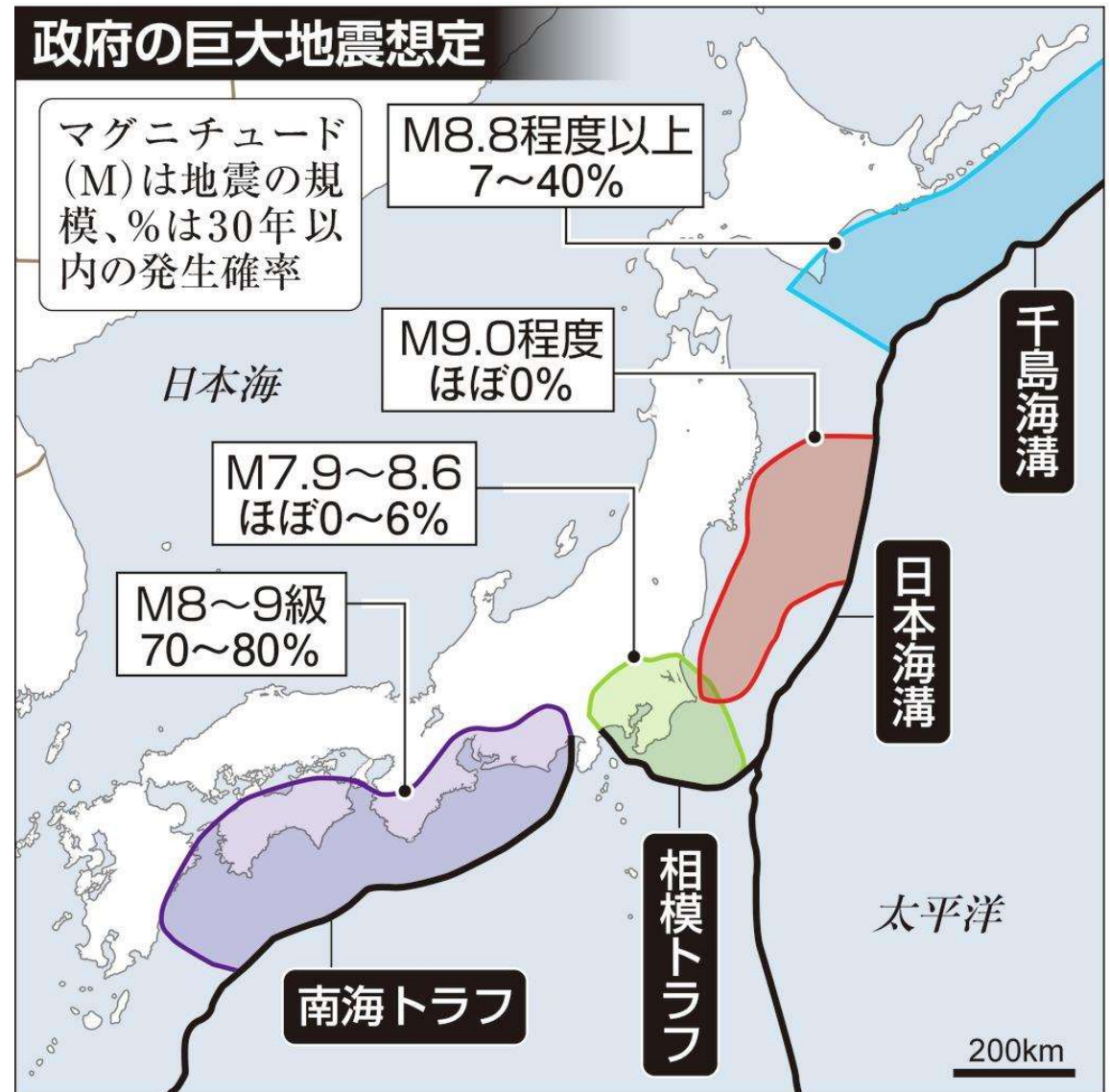
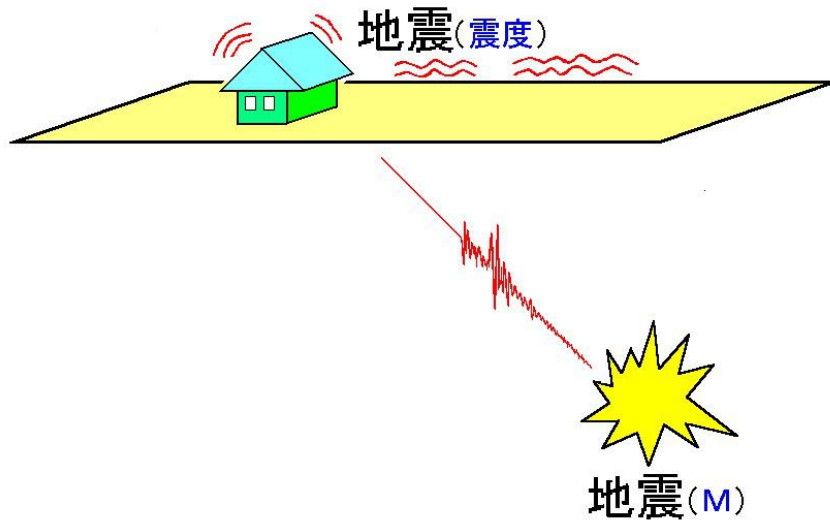
名称	M	地震の概略(浅い地震の場合)	日本周辺での発生頻度
大地震	9	数100～1000kmの範囲に大きな地殻変動を生じ、広域に大災害・大津波。	数百年に1回程度
	8	内陸に起これば広域にわたり大災害、海底に起これば大津波が発生する。	10年に1回程度
	7	内陸の地震では大災害となる。海底の地震は津波を伴う。	1年に1～2回程度
中地震	6	震央付近で小被害が出る。Mが7に近いと、条件によって大被害となる。	1年あたり10～15回程度
	5	被害が出ることは少ない。条件によっては震央付近で被害が出る。	1月に10回程度
小地震	4	震央付近で有感となる。震源がごく浅いと震央付近で軽い被害が出る。	1日に数回程度
	3	震央付近で有感となることがある。	1日に数10回程度
微小地震	2	震源がごく浅い場合に、震央付近でまれに有感となることがある。	1時間に10回程度
	1	人間に感じることはない。	1分に1～2回程度
極微小地震	0	人間に感じることはない。	無数に発生している。
	-1	人間に感じることはない。	
	-2	人間に感じることはない。	

日本海溝で起きる地震の新想定

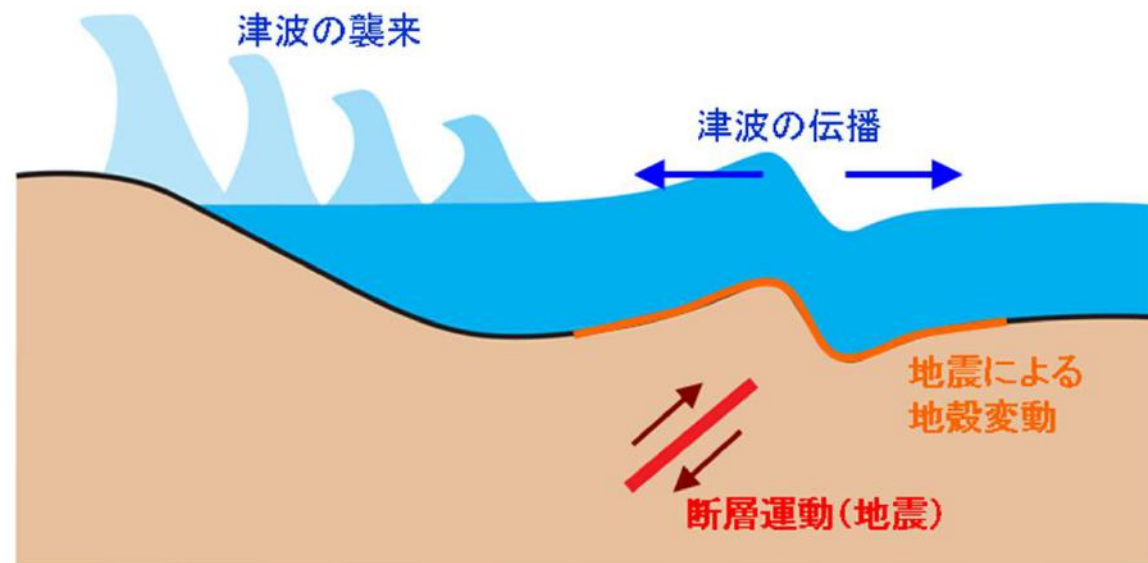
Mはマグニチュード、%は30年以内の発生確率



地震の規模







津波の発生

海底下の断層運動(地震)の結果、海底に地殻変動が発生し、その上の海水を押し上げる。この押し上げられた水の塊が津波となり四方に広がっていく。

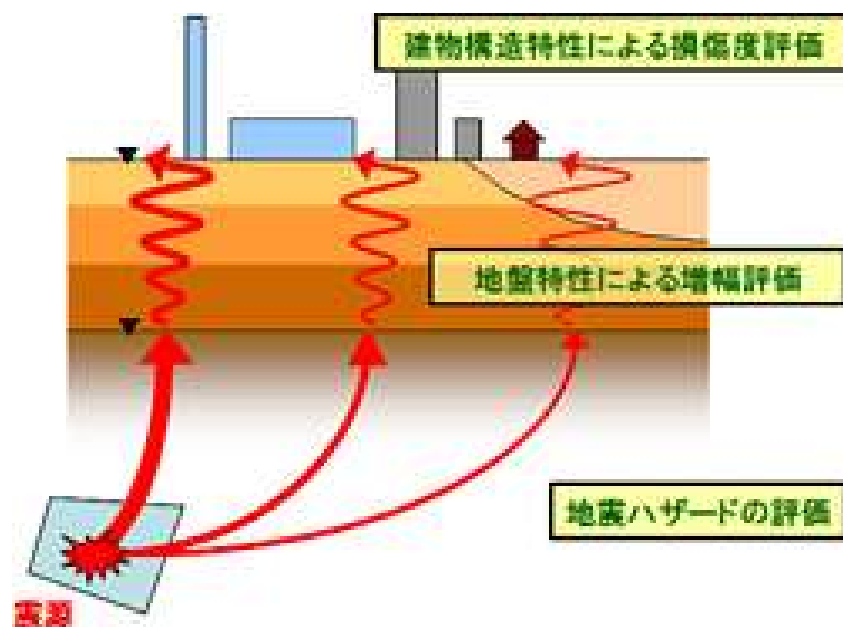




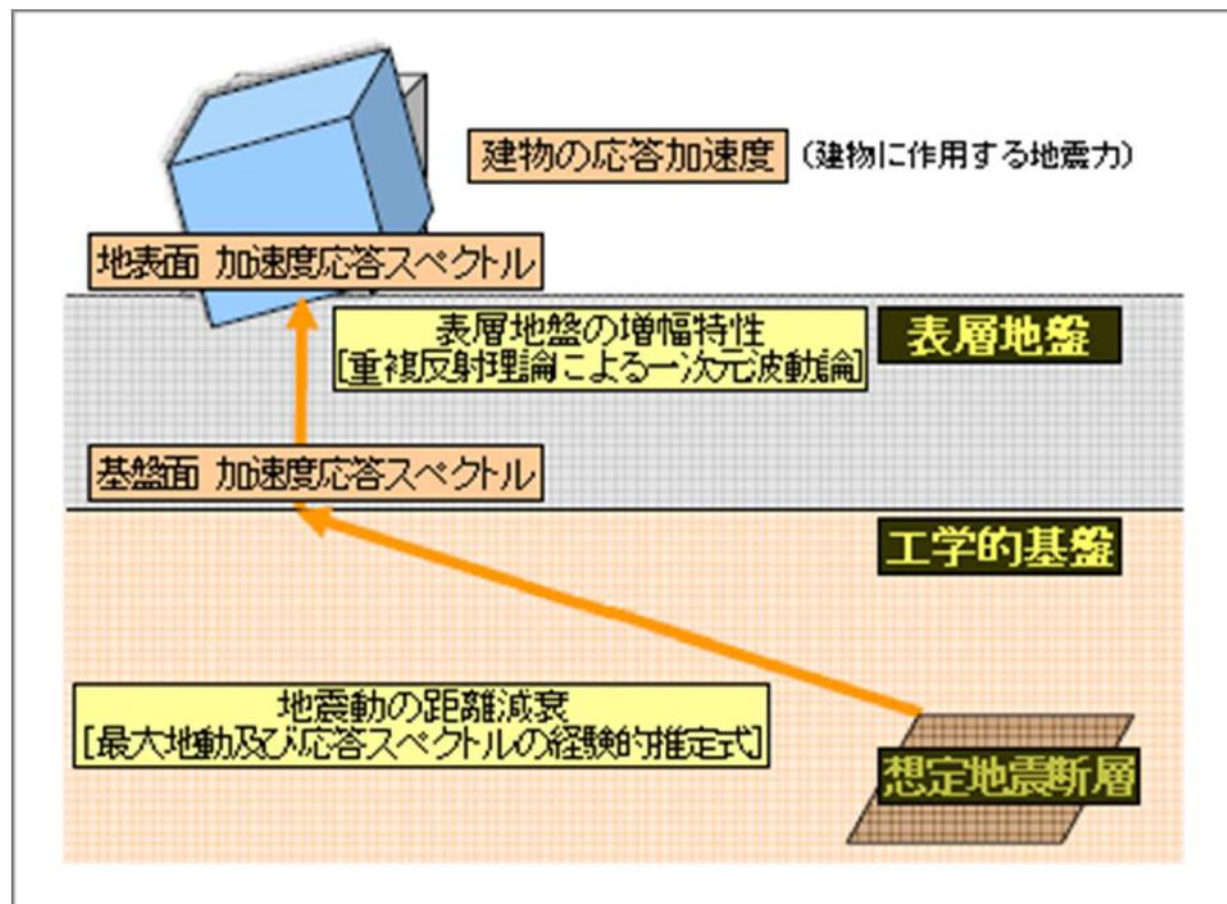




地震の規模



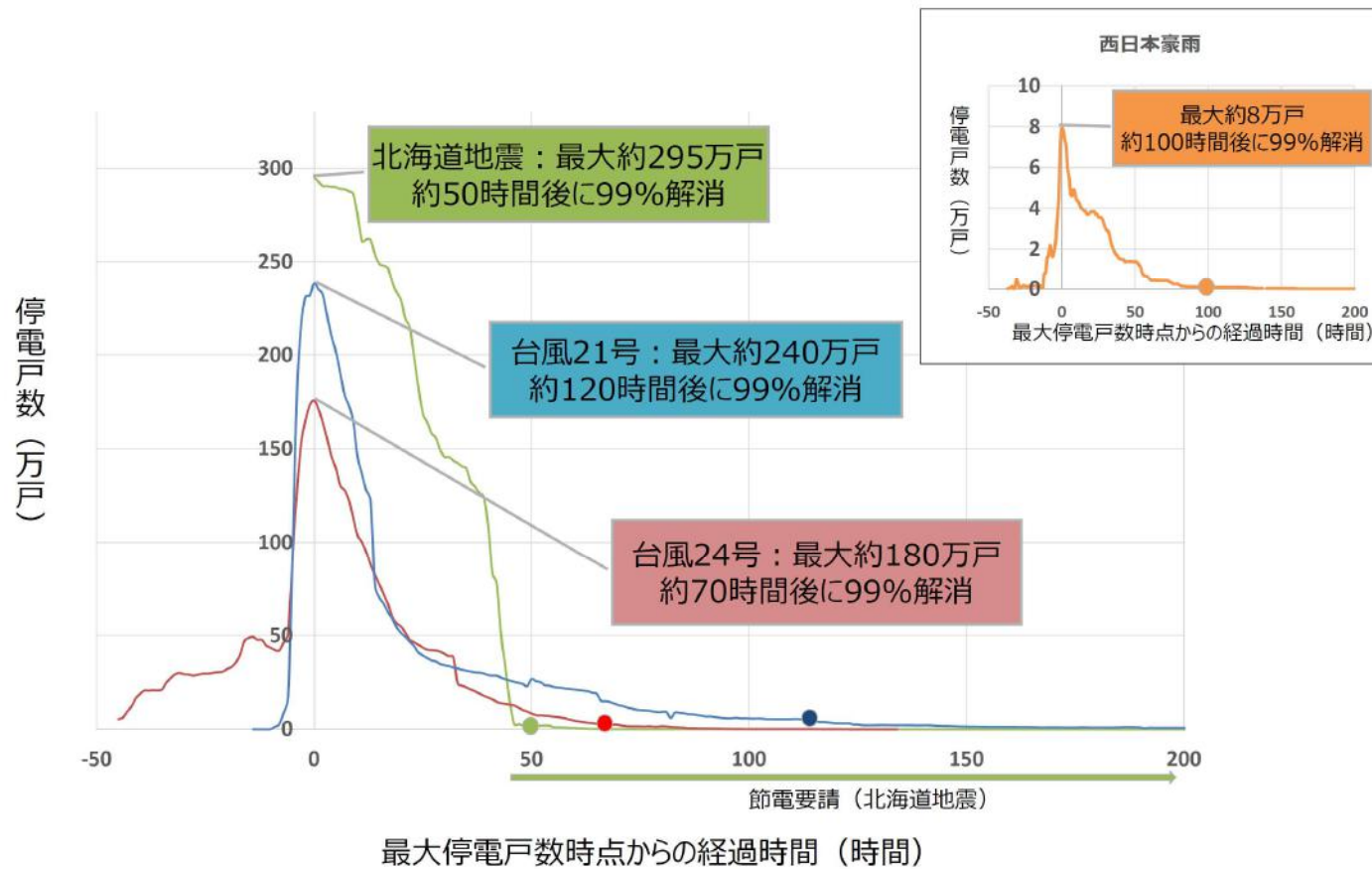
建物地震リスクの評価方法











※一部データはシステム障害などの影響により推定値を使用

※グラフにおいては、全て災害に起因する停電とし、停電戸数のピークの時点をもとにしている

※発災直後は、道路状況などの影響により立ち入り困難な地域があるため、ピーク時の停電戸数を100%とし、残っている停電戸数が1%を下回った時間を99%解消としている



旧耐震基準と新耐震基準の違い

